

憲法9条、世界へ、未来へ

10.21 9条連・JR総連 平和集会開催

10月21日「国際反戦デー」に合わせ、9条連・JR総連共催「平和集会」が、東京・目黒さつきビルにて開催されました。コロナ対策のためリモート視聴と併用で行なわれ、貨物労組と労連からは現地参加19名、リモート参加33名が出席しました。本部青年部では、池尻青年部長が9条連事務局として集会の司会進行を務めました（写真右）。



主催者であるJR総連山口委員長、9条連事務局石塚氏の挨拶後、ウクライナ避難民支援カンパの報告が行なわれました。

沖縄9条連事務局からは、宮城和之氏による沖縄での闘いについて報告がありました（写真右）。参議院選挙や沖縄県知事選では、米軍基地の辺野古移設反対派が勝利するよう、全力でバックアップをし、勝利を掴みました。那覇市長選(10月23日投開票)でも翁長前市長の意志を継ぐ翁長氏当選にむけ支援を行なっています。また、台湾有事が起きた際、南西諸島に米軍海兵隊の臨時拠点が設置できる日米共同作戦計画が進んでいることを受け、基地移設問題と併せて臨時拠点設置反対の闘いも進めていくことを宣言しました。



最後に、参議院議員・小西洋之氏（立憲民主党）から、国会での憲法改正反対の闘いについて講演をいただきました（写真左）。

衆参両議院に設置されている憲法審査会において、衆議院では改憲議論が着実に進められているのに対し、参議院では「憲法審査会は本来、憲法違反を審査・追及する場である」として改憲議論を進めないようにしている。これ以上議論が進まないよう、改憲反対の国民世論の醸成が不

可欠である。私も国会での闘いを続けていく、と資料を用いた分かりやすい解説と併せ、改めて強い決意が示されました。

池尻青年部長は冒頭の司会挨拶において、昨今の世界情勢をある作家の言葉を借りて「**第三次世界大戦前夜**」と表し、危機感を抱かなくてはならないのではないかと今こそ9条連の団体名にある「憲法9条 世界へ 未来へ」を広めるべきではないかと訴えかけました。

有事の際、鉄道は必ず軍事輸送を担い、攻撃の対象になる！
自分の、仲間の、家族の命と生活を守るため、
平和憲法改正反対！憲法9条を未来へ！！